

目次

P2 地区例会

P3 新会員紹介
広報フェスレポート

P4 ピックアップ会員
高倉さん



2025年度スローガン

指針を持ち ビジョンを掲げよ！

Vol.183



過去の活動は
ここからチェック！

2025年11月末会員数

2025年度末
目標 230名

200名/

広島県中小企業家同友会
東広島支部 会報誌
2025年 12月発行



【左から】柳河元木氏 (有)アリテザ インスタジオ
田村祐二 田村祐二税理士事務所
檀上英子氏 (株)アットコンパス

毎月第一金曜日に開催される“15分チャレンジ”

11/7、12/5に東広島事務局で開催しました。テーマを絞らず、話していただく内容は報告者にお任せしているざっくりばらんな東地区例会。

今回報告いただいたのは、【11月】柳河元木氏、田村祐二氏、檀上英子氏、【12月】花守慎太郎氏、清原真由美氏、杉原里志氏の6名です。

皆さんいろんな経歴をお持ちなので、今の様子からは全く想像できない若い頃の四方山話にはちょっと驚かされます。若い頃の写真が



【左から】花守慎太郎氏 (一社)東広島TFC
清原真由美氏 ポジティブK
杉原里志氏 (株)ixis

紹介されると会場も盛り上がりました。

報告の内容は、普段は触れることのない税務の話や、組織作りに必要なことや社風がいかに大事なのか、メンタルを変えるために必要なことやそのことが人材育成にも応用できること、美しい姿勢がもたらす心身への影響、小中高生のための陸上スポーツクラブの話など内容は様々です。いつも思いますが、どうなりたいかどうしたいのか目標をもって話をされる姿は皆さんとてもイキイキして輝いています。知らなかったことも知ることのできるこのチャレンジ、改めて良い企画だと感じました。

10月 オープン例会

記) 高倉



東広島支部10月オープン例会（10月31日／HAKUWAホテル）は、「しくじり先生、私みたいになるな！」をテーマに開催されました。報告者は、たなべ企画合同会社CEO・田邊彰司氏、株式会社US-SAIJO代表取締役・古谷博史氏。お二人は、年商1億円到達後の破綻や、多角化による数千万円の損失など、大きな失敗とそこからの学びを等身大で語られました。対談では「撤退判断の基準」「家族の支え」「仲間の存在」の重要性が共有され、会場全体が共感と温かさに包まれました。最後に「失敗しても学び続ければ再起できる。同友会はそのための場」と力強いメッセージが送られました。

11月 西地区例会

記) 亀井

12月西地区忘年例会

記) 松田



11月21日 東広島商工会議所1F多目的ホールにて、西地区例会を開催しました。

株式会社おたすけ隊 代表取締役 森田哲平氏が「人生の波を乗りこなすやんちゃ坊主から社会貢献へ」をテーマに報告を行いました。波乱万丈すぎる森田氏の報告は1回の例会ではおさまらず、来年続きの報告がされることになっています。皆さまぜひ、お楽しみにお待ちくださいませ！



早いもので1年も終わろうとしています。12月5日焼肉ニューソウルにて参加者24名で西地区忘年会が開催されました。新しく入会された方や長く入会されている会員も集まりとても賑やかな忘年会となりました。参加された方々に2025年の振り返りと2026年の抱負を、漢字一文字で語ってもらいました。ちょうどこの日、森本ネットさんが創業50周年ということで、商工会議所で表彰されめでたいことも重なりました。焼肉ニューソウルさんとてもおいしいお肉を御提供頂きありがとうございました。皆さまもぜひ食べに行ってみてください。

新会員紹介



会員名：折川 広之
(おりかわひろゆき)

会社名：NPO法人CLEAR

事業内容：社会福祉事業。身寄りが無い方、お金に余裕が無い方も利用できる「居住支援、身元保証、生活支援、法人後見、死後事務」を、医療・福祉・司法専門職で支援しています。

一言：経営について、諸先輩方との意見交換や研修等を通じて学ばせていただきたい。



会員名：松山 喜与
(まつやま きよ)

会社名：焼肉ニューソウル

事業内容：飲食業

趣味：ヒップホップダンス

一言：これからよろしくお願ひします

仲間を増やし、学びを深めましょう！

● お誘いください！

● 【未入会の方へ】
「学びたい」「仲間が欲しい」と悩む経営者に、あなたの体験談が最高の誘い文句です。

● 【お久しぶりの方へ】
今、立ち止まっていますか？
現在、もし

● 解決の糸口が見えない難題に直面している

● **「このままでいいのか」**という迷いを抱えている

● 経営者としての孤独を感じているのであれば、ぜひ例会にお越しください。

一人の声かけが、貴社と地域の未来を変えるきっかけになります。

2025 広報フェスレポート②インバウンド向け広報のコツ

記) 亀井

2025年8月23日 SENDA LAB (広島市中区・広島大学東千田キャンパス) にて行われた広報フェス (中小企業向けの広報勉強会) の内容をシェアします。
前回のレポート①では、写真の撮り方のコツを紹介しましたが、今回はインバウンド向け広報のコツについて紹介します。

翻訳アプリの精度は日々向上しています。

インバウンド向け広告で大事なものは、「何を翻訳するか」という点です。

例えば天ぷら屋さんで「旬の素材をからりと揚げた」では外国人には伝わりにくい

ですが、「新鮮な食材に薄く小麦粉をつけて油で軽く揚げた料理」と説明すると明確です。

また、日本の祝日は外国人にとって馴染みがないので、「祝日定休」ではなく具体的な日付を記載するほうが親切です。
時間表記も14時より「2:00 PM」の方が理解されやすくなります。

直訳ではなく、相手の知識に合わせて情報を補うことが重要です。伝わる形に整えて初めて、翻訳が効果を発揮します。

🐶🐱 我が家のアイドル 🐶🐱

荒古江 クロちゃん



うちのツンデレ！

住田シーマくん



甘えんぼ中年おじネコ

藤原ポメ雄くん



散歩大好き♡
ポメ雄です！

自慢のペット募集中
掲載希望の方は
下記QRコードから！



株式会社高倉組 代表の高倉仁氏は、今年4月に同友会へ入会されました。

静岡県出身。大学中退後は建設業界で現場管理を経験し、現場の安全やチーム運営に深く関わってきました。

施工現場での指揮や調整を担う中で、「伝える」ことの難しさと重要性を痛感した経験が、後のキャリアに大きな影響を与えます。

安全に関する情報共有が不十分でトラブルにつながる場面もあり、「正しく伝わる仕組みの必要性」を強く意識したと語ります。

長崎県の現場での勤務時代にドローン撮影と出会ったことをきっかけに、動画制作へ関心を深め、その後、奥様の故郷である広島へ移住し、企業の動画活用支援を開始されました。

現在は、中小企業のYouTube運用サポートを中心に、

発信戦略の設計から 企画・撮影・編集・サムネイル制作まで一貫支援を行っています。

これまではオンラインでの支援が中心で県外企業との取り組みが多くありましたが、同友会への入会を機に、オフラインで広島地域の企業支援にも力を注いでいます。

地方の中小企業は、知名度や広告費では大手に勝てません。

だからこそ“誰が、どんな想いでやっているのか”を伝える発信が、選ばれる理由になると語り、地域企業の魅力発信に取り組んでいます。

“想いが企業の価値になる未来をつくる。”高倉氏は、動画を通して企業の想いや姿勢が正しく伝わることで、地域の中小企業が選ばれる社会を目指しています。

2月には同友会合同勉強会で講師として登壇し、

“中小企業のSNS活用”をテーマに講話予定。今後の活躍に期待が高まります。

